

別記様式（第7条関係）

## 会 議 録

- 1 会議の名称 令和7年度第1回富士川町食育推進協議会
- 2 会議日時 令和7年6月30日（月） 午後4時～5時
- 3 開催場所 富士川町役場 会議室101
- 4 出席者数 委員8名（欠席者3名）、事務局4名、傍聴者0名
- 5 協議会の内容
  - （1）開会
  - （2）委嘱（任命）状交付
  - （3）自己紹介
  - （4）役員選出
  - （5）会長あいさつ
  - （6）議事
    - ①第3次富士川町食育推進計画の概要
    - ②令和6年度富士川町食育推進取組状況
    - ③令和6年度富士川町食育推進の取組評価
    - ④令和7年度富士川町食育推進の取組予定
    - ⑤その他
  - （7）閉会

## 6 発言の内容（議事）

事務局：第3次富士川町食育推進計画の概要の説明。

委員A：資料6のリーフレットは、次の配布予定があるか。

事務局：現段階で次の配布は考えていないが、町のホームページやQRコードを活用しての周知を検討している。

委員B：食育推進計画や食育の取組を、継続的にアピールする取組が必要だと思う。

委員C：ホームページより、インスタグラムなどに載せるのが効果的。意識しなくても目につくようにすれば住民に周知できる。

事務局：各世代に合う情報伝達の仕方を検討し取り組んでいきたい。

委員 A：広報で周知する場合、組に入っていない方はどうしているのか。

事務局：地区の公民館、町民会館、役場の窓口にて配布している。組に入らない人に対しての周知は役場の課題の1つである。ホームページ、LINEなどを上手活用していきたい。

事務局：令和6年度富士川町食育推進の取組状況について説明。

委員 B：私立保育園には、町が環境教室を実施していることや食生活改善推進員が行っている食育の活動が届いていないため、町全体に周知してほしい。

事務局：町の食育の取組を整理し、周知をしたい。

委員 C：保育所の食物アレルギー対応について、アレルギーや特定の食品を食べさせたくないと考えている家庭にはどう対応しているのか。

委員 D：毎月、献立表の成分表を保護者にチェックしてもらっている。代替食品の提供は実施していないため、基本は除去、または代替の食品をお持ちいただく対応している。保護者と学校でダブルチェックをする体制を作り、事故防止に努めている。

委員 E：保育所では代替食も出している。アレルギーの申請があった場合、書類などでアレルギーの内容を確認し、保護者、医療機関、栄養士、調理員、担任で会議を開き、情報を共有している。また、給食当日は給食室でチェック表を基に確認し、配膳の際は、おぼんの色を変更するなどの工夫をしている。

委員 B：果物アレルギーが増えている。小麦アレルギーの場合は、除去が難しく、自宅から代替食を依頼したことがある。また、小麦を米粉に変える等、みんなが同じものを食べられるような工夫をして対応していた。保護者の希望で特定の食品を除去したい場合には、可能な範囲で対応している。

委員 C：アレルギー対応等のために、職員採用など、町としての後方支援はあるのか。

委員 E：個人から徴収することはない。また、調理員の配置に関しては、アレルギー対応食を作る職員を含めた配置人数になっている。

事務局：令和 6 年度富士川町食育推進の取組評価について説明。

委員 A：保育所で実施しているアンケートはどんな変更があったのか。

事務局：朝 7 時に起きる家庭が、7 時までに起きるという項目に回答できるよう、アンケート内容を変更した。

委員 B：アンケートの記載方法の変更により、令和 8 年度までの目標値を既に超えている。昨年度同様を目標にするなど、目標値の変更はできないのか。

事務局：修正できるように検討したい。

事務局：令和 7 年度富士川町食育推進の取組予定について説明。

委員 C：リユース食器を用いて食品を提供することを推進するについて、具体的にどんなアクションを予定しているか。また、利用数が増えない理由について、金額的な部分と手続きの煩雑さがあると考えている。申請をインターネットでできるようにできないか。また、環境保全のためにできる活動として PR をして欲しい。

事務局：今年も広報紙などを活用し、周知の予定。ネット上の手続きについては担当と検討したい。

委員 A：夏休みになると、給食がなくなり困るといような子を把握しているか。

委員 D：把握していない。学校にも把握しているか確認する。また、今年度できれば、アンケート項目を増やし、そういった項目も含めた内容にしていく。

委員 A：たはたの宿の利用状況は。

委員 F：R6 年は 101 棟の利用があった。利用者のニーズは、種まき、田植え、草刈りなど様々。最近は玄米を精米し食べる農業体験が人気。できるだけ今年度は利用者を増やすように努力していきたい。

事務局：第 2 回富士川町食育推進協議会を 2 月頃に予定している。